

特集

# わたしたちの水道100周年

■問合せ…ガス水道局総務課 (☎025-522-5518)



写真:水源の一つである名立川の上流

豊かな自然の恵み、蛇口をひねれば出てくる水。  
その当たり前を、これからも。

## 100周年を迎える水道事業

水道が整備される以前、市民の皆さんの暮らしては、井戸へ水をくみに行くことが日常でした。当時は、水質や衛生面に多くの課題があり、不安を抱えながら水を利用していた時代でした。

そのような中、1926（大正15）年6月、旧高田市の南城浄水場から給水が開始され、各家庭へ水を届けることができるようになりました。それから時を重ね、本年6月、上越市の水道事業は100周年という大きな節目を迎えます。

今では蛇口をひねれば、いつでも安全で安心な水を使うことができます。この「当たり前」は、先人たちが知恵と努力を重ね、技術を磨き、施設を整備し、適切な維持管理を続けてきたからこそ築かれたものです。加えて、市民の皆さん一人一人のご理解とご協力が、今日の水道を支えてきました。

100年の歩みと自然の恵みに感謝しながら、これからも市民の皆さんへ、安心して利用できる水を届け続けてまいります。



池田 ガス水道事業管理者

# 水道のこれまで

上越市の水道の歴史は、旧高田市の給水開始から始まりました。その後、旧直江津市でも給水が開始され、1956（昭和31）年以降にその他の旧町村でも水道事業が始まりました。現在では市内の全ての地域で安全・安心な水が、安定して届けられ、市民の皆さんの暮らしを支えています。

## 利水総合開発事業への着手

**水** 道事業の創設時は、地下水を水源としていましたが、地盤沈下や塩水化障害により地下水への依存ができなくなりました。広域に水源を確保するため、1965（昭和40）年に県と旧高田市・旧直江津市が共同で「上越利水総合開発事業」を立ち上げ、名立川・桑取川の水源利用に取り組みました。1969（昭和44）年には、城山浄水場が完成し、待望の河川の水が水道管に流れ始めました。



建設中の城山浄水場

## パンフレットを作成しました

水道事業の取り組みや歴史をまとめました。ガス水道局ホームページなど [詳しくは](#) [ご覧ください](#)。



## 100年のあゆみ

1926（大正15）年  
旧高田市で給水開始（825戸）



南城浄水場での地下水くみ上げ

1937（昭和12）年  
旧直江津市で給水開始（142戸）

1969（昭和44）年  
城山浄水場が完成

1987（昭和62）年  
正善寺浄水場が完成



正善寺浄水場

1994（平成6）年  
平成の渇水

2003（平成15）年  
柿崎川浄水場が完成



柿崎川浄水場

2025（令和7）年  
令和の渇水

2026（令和8）年  
水道事業開始から100年

## 水道事業のはじまり

**高** 田における近代水道の構想は、1903（明治36）年に打ち出されましたが、当時は財政的な課題から実現には至りませんでした。その後、陸軍第13師団が設置され、軍から市当局などへ水道敷設の強い要請があったことをきっかけに、計画は再び動き出します。政治的混乱など多くの困難を乗り越え、1926（大正15）年、ついに南城浄水場から通水が実現しました。市民にとって、蛇口から清らかな水が流れる喜びは大きく、高田の近代化を象徴する出来事となりました。



盛大に行われた通水式

## 平成と令和の渇水

**1** 994（平成6）年と2025（令和7）年は、記録的な少雨などの影響により渇水に見舞われました。いずれの年も、市民の皆さんから節水にご協力いただき、断水を回避することができました。



節水を呼びかけたチラシ

# 水道のいま

## 安全・安心な水をお届けします

### おいしい水をつくる

市内には40カ所の浄水場があり、各所では水源から取り入れた水の泥や濁りを取り除き消毒して、安全でおいしい水道水を作っています。



浄水センター 浄水担当  
下鳥主事



浄水場ろ過槽の点検

### 安全・安心を守る

水道水は水道法で定められた基準により、毎年196項目の検査を行っているほか、市内38カ所の水道管末端部において毎日水質を検査しています。



塩素濃度の検査



浄水センター 水質担当  
竹田主任

### 安定して水を届ける

市内の道路の下には、約2,000kmの水道管が埋まっており、日々の点検や漏水調査、老朽管の計画的な更新に取り組み、水の安定供給に努めています。



管路課 小嶋技師



水道管の点検(漏水調査)

### 緊急時に備える

災害などで断水した場合に備え、給水車の配備など、迅速に対応できる体制を整えています。また、市外で災害などが発生した場合には、給水支援などの相互協力を行います。



湯水時の他自治体からの  
給水応援(令和7年)



供給計画課 内山主任

上越市ガス水道局 ネット支店

**ほかほかポータル** をご利用ください

ご家庭のガス水道・下水道料金や使用量がアプリやウェブで確認できるほか、ガス水道局からのお知らせがアプリに届きます。

また、今後は機能を拡張して各種手続きをできるようにするなど、ガス水道局ネット支店として皆さんから広くご利用いただけるようバージョンアップしていきます。

#### 便利なポイント①

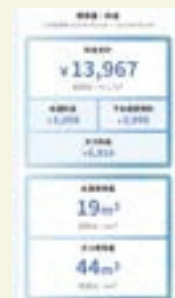
使用量や料金をいつでも確認

#### 便利なポイント②

お支払い状況が分かる

#### 便利なポイント③

有用なお知らせが届く



詳しくは



# 知ってほしい 水のこと



経営企画課  
河野係長、八木主任

水道事業をより身近に感じていただくため、ホームページやSNSでの情報発信をはじめ、水の大切さを学ぶ水源めぐりや浄水場見学の実施など、さまざまな広報活動に取り組んでいます。

毎年秋に開催する「ガス水道フェア」では、水道やガスに親しむことができます。今年は、水道の仕事を体験できるワークショップを予定しています。



昨年のガス水道フェアの様子



## みどりのフェスティバル（4月25日±）で浄水実験ブースを出展しました

／体験した皆さんにお聞きました／



浄水実験の様子

浄水実験で水がきれいになる過程を見て、子どもが喜んでいました。水が手に入ることを当たり前だと思わずに、大切に使用していきたいです。

上越の水道水はおいしいので、ペットボトルの水を買うことがなくなりました。これからもこの水を大事に使う習慣を身につけていきたいです。

汚れた水を浄水する過程を来場者の皆さんから直接ご覧いただきました。初めて体験した人も多く、意外と単純な仕組みに興味を示していました。



川田さん親子



風間さん、井上さん、丸山さん

## 水道のこれから

### 100年の歩みを次の世代へ

#### 100周年記念の取り組み

##### ◆ 記念ロゴマークの作成

上越総合技術高等学校の皆さんの協力により100周年記念ロゴマークを作成し、周知に活用しています。



##### ◆ ボトルウォーターの製造

水道水のおいしさをPRするため、城山浄水場の水道水を詰めたボトルウォーターをイベントなどで配布しています。



##### ◆ その他の取り組み

水道事業始まりの地・南城浄水場の説明看板、記念碑の設置などに取り組みます。詳しくは、詳しくはガス水道局ホームページをご覧ください。



#### 100周年キャッチフレーズ

## じょうえつの未来を創る 水の道

当たり前のように蛇口から流れ出る水。

それは、私たちの暮らしを支え、地域の歩みとともに受け継がれてきた、かけがえのない財産です。山々が育んだ自然の恵みは、網の目のように広がる「水の道」を通り、今日も私たちの生活を潤してくれています。

大切な水を、これからの未来を生きる世代へ。先人たちの思いを受け継ぎ、次の時代へつないでいきます。